

令和7年9月 斐伊川水系水質情報

令和7年9月(宍道湖1日・中海4日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	5.3	△	平 年 並 み	3.5	△	平 年 並 み	4.7	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.46	△	平 年 並 み	0.35	○	良好(平年並み)	0.40	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.123	★	非常に高い	0.049	△	平 年 並 み	0.059	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	32	△	平 年 並 み	6.0	△	平 年 並 み	17	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	4,640	×	やや高い	12,100	△	平 年 並 み	10,900	△	平 年 並 み
	下層	4,640	×	やや高い	17,400	△	平 年 並 み	14,300	×	やや高い
溶 存 酸 素	上層	8.7		やや低い	7.5		やや低い	8.6		やや低い
	下層	7.7		平 年 並 み	2.3		やや低い	3.4		やや低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.6	やや上昇	4.6	下降	5.8	下降
全窒素	上層	0.38	やや上昇	0.35	横ばい	0.37	横ばい
全リン	上層	0.098	上昇	0.050	横ばい	0.044	やや上昇

宍道湖の透明度は1.7mから1.6mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.2mから2.5mとやや上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.9mから1.7mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%